

平成 30 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 筒 井 公 久
 社 長
 (コード番号 6417 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 常務執行役員 大 島 洋 子
 管理本部長
 (TEL. 03-5778-7777)

連結業績予想の修正及び個別業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、個別業績予想につきましては、平成 29 年 5 月 12 日の「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表時点で開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比におきましてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	97,000	8,100	8,700	5,800	71.45
今回修正予想 (B)	84,000	4,000	5,000	3,500	43.12
増減額 (B - A)	△13,000	△4,100	△3,700	△2,300	—
増減率 (%)	△13.4	△50.6	△42.5	△39.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	81,455	5,059	3,832	1,777	21.94

(2) 修正の理由

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、ギャンブル等依存症対策の一環として、平成 30 年 2 月 1 日から「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」が施行される予定であります。当社グループの顧客であるパチンコパーラーは、現段階で改正規則に適合する遊技機に対してファンがどのような反応を示すか見通しづらいことから、新台入替など遊技機の設置機種構成見直しの判断を先送りしております。

こうした中、当社グループでは、改正規則施行後の業界環境の変化に対応するため、最近の遊技機の受注・販売動向をもとに下期及び来期までの販売スケジュールを見直し、今期においては公表した業績予想の達成が困難であると判断いたしました。

パチンコの予想販売台数は 225 千台から 164 千台、パチスロの予想販売台数は 40 千台から 29 千台となります。

2. 個別業績予想

(1) 平成 30 年 3 月期 個別業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前期実績 (A)	66,356	△375	3,460	3,308	40.76
今回予想 (B)	70,900	500	3,300	1,800	22.17
増減額 (B - A)	4,544	875	△160	△1,508	—
増減率 (%)	6.8	—	△4.6	△45.6	—

(2) 前期実績との差異が生じた理由

売上高につきましては、パチンコの販売台数が 173 千台から 164 千台、パチスロの販売台数が 33 千台から 29 千台へ減少いたしますが、セールスマックスの変化による販売単価の上昇等により、前期実績と比べ若干増加し、70,900 百万円となる見通しになります。

利益につきましては、売上高の増加に伴い営業利益は増加するものの、経常利益、当期純利益は、関係会社からの受取配当金の計上額が減少したことから、前期実績を下回る見通しになります。

なお、期末配当につきましては当初予想の 1 株当たり 75 円 (年間配当 150 円) を変更する予定はございません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上